

ユーザーズ マニュアル

ITL-3190BT Plus

株式会社アイテックス



お知らせ

本製品は、EN 55022 および 47、CFR パート 2、FCC パート 15 に準拠するクラス A コンピューティングデバイスの規制に適合することが実証されています。これらの規制は、居住地域に設置したときの干渉や混信を適切に防止する目的で規定されています。

本製品は、商用環境で使用することを目的としていますが、本製品をラジオやテレビの近くで使用すると受信障害を引き起こすことがあります。また、住宅環境で使用した場合も本製品をラジオやテレビの近く使用すると受信障害を引き起こすことがあります。本製品が障害を引き起こしているかは、本機をオン、オフすることで確認できます。

ユーザは、下記の手段の 1 つ以上により受信障害を解消するようにしてください。

1. 受信アンテナの向や位置を調整します。
2. 本製品と受信機を離します。
3. 本製品または受信機のコンセントを別にします。

本製品必ずマニュアルに従ってご使用ください。

本製品は、CE 規格に適合しています。これらの標準に適合するためには CE マークのある AC アダプタが使用されるべきであることに注意してください。

本製品の使用誤り、故障、その他不具合による損害、接続している機器の付帯的あるいは間接的な損害については、法令上認められる場合を除き、一切その責任を負いませんのでご了承ください。

本マニュアルを ZEBEX INDUSTRIES INC の許可なく任意の手段によって、複製、転載することを禁止します。

本マニュアルは改良のため予告なく変更することがあります。

本マニュアル中の全ての商標、固有名詞は各社の商標、または登録商標です。

Copyright © 2024. by ZEBEX INDUSTRIES INC.

目 次

お知らせ	
1. はじめに	1
2. 梱包内容	2
3. 各部の名称	3
4. 充電電池の取り付け	4
5. 充電の方法	5
6. クレードルの接続方法	7
7. スキャナとクレードルのペアリング	8
8. スキャナのページング	13
9. スキャンモード	13
10. データ送信モード	14
11. ビープ音、LEDインジケータ	15
12. メンテナンス	17
13. 初期設定値	18
14. バーコード設定メニュー	19
システム関連	20
インターフェース	20
スキャンモード	21
クレードルホストモード	22
USBオンラインモード	23
BT HIDモード	23
BT SPPマスタ/スレーブモード	23
データ転送モード	25
無線通信プロトコルパラメーター	26
スリープ時間	27
同一コード読み取り間隔	29
読み取り成功時ビープ音	30
ビープ音	30
文字間ディレイ	31
メッセージ間ディレイ	31
RS232C I/F	32
キーボード I/F	36
USB I/F	38
Codabar	40
Code39	41
Code128	44
中国郵便コード	45
MSI/Plessey	46
Code11	48
ITF (Interleaved2of5)	49
Standard2of5	51
Industrial2of5	52
UPC/EAN/JAN	53
Telepen	58
Matrix2of5	59
GS1DataBar	60
コードID	63
ヘッダー/トレーラー	65
設定用フルアスキーバーコード	
設定用数字バーコード	
アスキーコード表	
キーボードコード表	
コードID表	

1. はじめに

ITL-3190BT Plusは、耐久性と使いやすさを追求したプロ仕様のハンドヘルド型ワイヤレス2次元バーコードスキャナです。大容量リチウムイオンバッテリーを搭載し、長持ちするパフォーマンスと100mのワイヤレス範囲を提供します。軽量のガンタイプのデザイン、頑丈な作り、LEDの点滅とプログラム可能なビーパーによる直感的なフィードバックにより、厳しい条件下での使用に最適です。このスキャナは、さまざまなデバイスから幅広い1Dおよび2Dバーコードを読み取ることができるため、効率化を求める製造業や物流部門に最適です。

専用クレードル（充電＆無線受信機）、Bluetooth Dongle、Bluetoothワイヤレステクノロジーを持つすべての機器と通信が可能です。（注1）

100mの通信範囲内でスキャンされたすべてのデータは直ちに接続されたPCに転送されます。

ITL-3190BT Plusは、ハンドヘルドモードまたはハンズ・フリーモードのどちらでも、スキャンされたデータは、高精度で信頼できる読み取り能力を提供する信頼されたツールになるでしょう。

ITL-3190BT Plusの主な特長

- 100M ワイヤレス範囲
- 柔軟なデータ接続性
- 点滅LEDとプログラム可能なビーパー
- 軽量で堅牢なガンタイプデザイン
- バッテリー長寿命のためのスマート充電
- 携帯電話、タブレット、スクリーンからバーコードを読み取ります。

（注1 すべてのBluetooth製品との接続を保証しているものではありません。）

2. 梱包内容

梱包箱を開けて下記内容を確認してください。
不足や輸送中の破損があったときはご購入の販売店にご連絡ください。

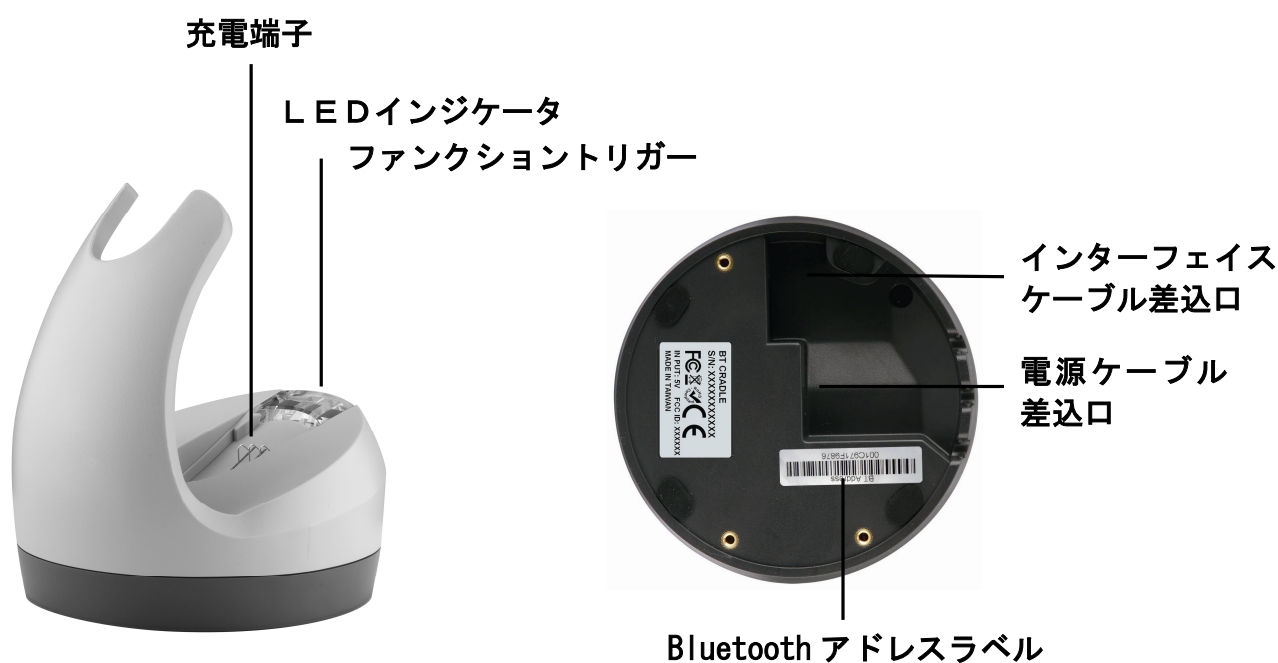
1. スキャナ本体
2. クレードル本体（充電＆無線受信機）
3. ACアダプタ＋ミニUSB電源ケーブル
4. インタフェースケーブル（USB／RS232C）
5. 専用充電池
6. 本マニュアル

3. 各部の名称

【スキャナ本体】



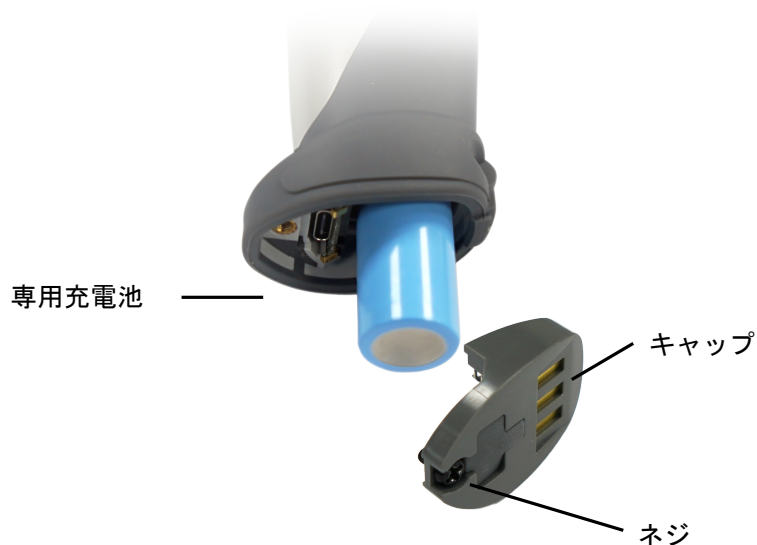
【クレードル】



4. 充電電池の取り付け

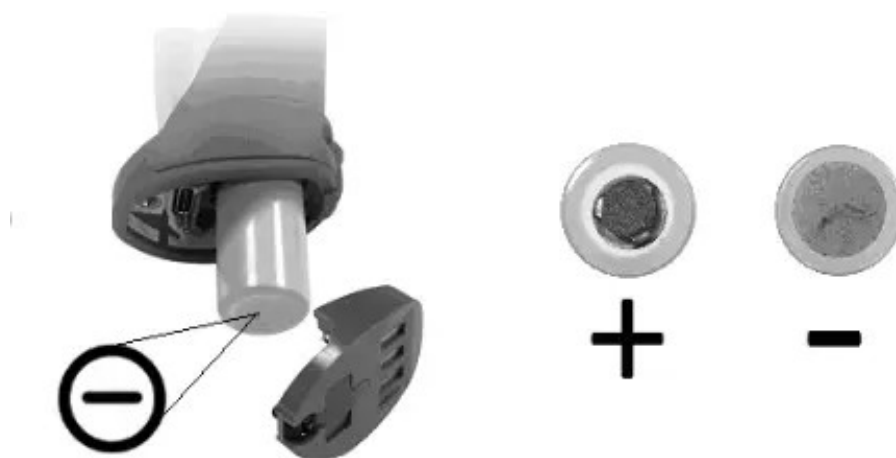
付属の充電電池はITL-319xBT Plus専用です。専用充電電池以外は使用しないでください。専用充電電池以外の使用は保証対象外です。

ネジを回しキャップを外します。専用充電電池を挿入します。



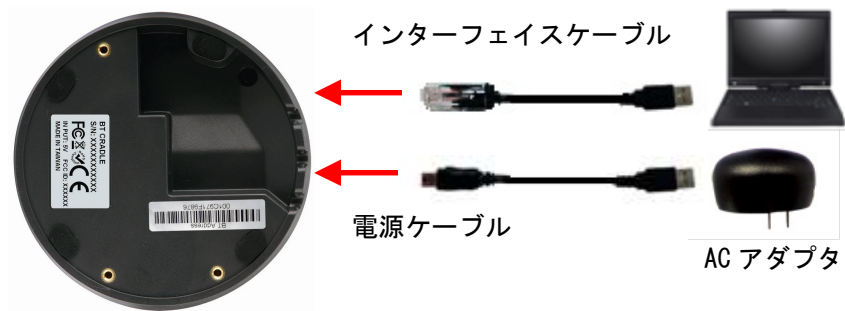
マイナス面が下になっていること、充電電池が奥まで挿入されている事を確認して、キャップを取り付け直します。

専用充電電池が奥まで挿入されている事を確認して、キャップを取り付けネジを締めます。



5. 充電の方法

【USBセットの接続方法】



1. 上図を参照しUSBインターフェースケーブルをクレードルのRJ-45コネクタに接続し（“カチッ”とクリック音がするまで奥に差し込みます）、反対側をPCのUSBポートに接続します。
電源ケーブルをクレードルのミニUSBコネクタに接続し、反対側のACアダプタをコンセントに接続します。
2. 充電池をセットしたスキャナ本体をクレードルにセットしてください。正常にセットできた時にはショートビープ音が鳴り充電が開始されます。



※本体を直接充電する場合
電源ケーブルをスキャナのボトムの
ミニ USB コネクタに接続して充電し
ます。充電時間は約7時間です。



【充電について】

スキャナのLEDが緑の点滅の時は充電中を示し、緑の点灯の時はフル充電になったことを示します。（11. ビープ音、LEDインジケータも参照ください。）

充電電池の寿命は充電回数に依存します。スキャナをクレードルにセットするだけでいつでも自動的に充電します。

- クレードルでの充電は時間は約5時間です。
- 充電中はスキャナの電源が自動的にオンになります。
- 推奨される充電の温度環境は、0℃～35℃です。

6. クレードルの接続方法

スキャナはクレードルとペアで動作します。スキャナはバーコードを読むとバーコードデータは、クレードルに無線通信され、クレードルは接続したインタフェースケーブルによってホストにバーコードデータを送信します。

次のステップでクレードルとホストを接続します。

1. インタフェースケーブルをクレードルのRJ45コネクタに接続してください。「カチッ」とクリックがするまで奥に差し込みます。そして反対側のコネクタをホストと接続してください。
2. 付属の USB ケーブルをクレードル底部の USB-C ポートに接続し、もう一方の端を USB 電源アダプタに接続します。USB インタフェースの場合は、ホストが十分なパワーを持っているならば、AC アダプタなしで動作可能です。
しかし、バッテリーに充電するためにはACアダプタが必要です。
3. USB 電源アダプタを AC コンセントに接続します。スキャナとの接続が完了するまで、クレードルの LED インジケータが青く点滅します。

【注意】

AC アダプタを接続した場合は、ホスト (5V) からの電源は無視されます。

RS-232C インタフェースでご使用の場合は、AC アダプタの接続は必須です。ミニUSBコネクタに差し込んでください。

クレードルの底面にある USB-C ポートは、USB 電源アダプタのみを使用して接続してください。クレードルを使用する際は、充電のためにPCホストにUSBケーブルを接続しないでください。

クレードルに電源が供給されるとLEDは赤から青色の点滅に変わります
LEDが青色の点滅時はホストとの接続待ち状態を示します。スキャナとクレードルがペアリングしている状態ではLEDは青く点灯したままになります。

7. スキャナとクレードルのペアリング

ITL-3190BT Plusでは4つコミュニケーションモードをサポートします。

- クレードルホストモード
- SPP スレーブモード
- SPP マスターモード
- HIDモード

7-1 クレードルホストモード

クレードルとセットで動作する出荷時のモードです。箱から出してすぐに動作するようになっていますが、長期保管や万が一ペアリングされない状態になっている場合は下記の手順により再度ペアリングをしてください。



- 1) クレードルに電源が供給されるとLEDは赤から青色の点滅に変わります。LEDが青色の点滅時はホストとの接続待ち状態を示します。



設定開始



クレードルホストモード有効



設定終了



Bluetooth アドレスラベル

- 2) 「設定開始」→「クレードルホストモード有効」→「設定終了」の順でバーコードを読み取ります。スキャナの LED が速い青の点滅状態となります。次に、クレードル底面の「Bluetooth アドレスラベル」のバーコードを読み取ります。スキャナ本体の LED が青の速い点滅になりペアリング状態となります。ペアリングが正常に完了するとスキャナからハイ、ローのビープ音が鳴り、その後スキャナの LED が遅い青の点滅、クレードルの LED が青の点灯状態となります。
- 3) もしも、クレードルがペアリングロックモードに設定されている場合やスキャナがクレードルホストモードのペアリングに失敗した場合は、スキャナは「ピッピッピッ」とエラービープ音を鳴らし LED は青の速い点滅状態となります。

【注意】

クレードルホストモードでは、常にスキャナはマスターモードでクレードルはスレーブモードです。上記のような場合には、ペアリングアンロックモードのバーコードを読んでください。

- 4) クレードルとスキャナの接続がリンクしている時は、クレードルの LED は青で点灯しています。クレードルとスキャナの接続が何かの理由のタイムアウトになったりパワーダウンモードになってリンクしていない時は、クレードルの LED は青の点滅でお知らせします。スキャナのトリガボタンを 1 秒以上押すかスキャナをクレードルにセットすると自動的にリンクを再開します。

【注意】

初期設定ではコミュニケーションモードはクレードルホストモードです。万が一この設定が消えたような場合には、本書により再度クレードルホストモードの設定を実施してください。

7-2 SPP スレーブモード

このモードでは、スキャナはシリアルポートプロファイル（SPP）によりホストとリモート接続されます。

USB-Bluetooth dongle や Bluetooth 内蔵 PC などが
必要です。またシリアルポートからデータを取り込む「Com-de-key」
などのアプリケーションも必要になります。 デバイス名は「ZBBT」、P
INコードは「12345678」です。



設定開始



SPPスキャナスレーブモード



設定終了



【このモードの接続についてはお問い合わせください。すべての Bluetooth 製品との接続を保証しているものではありません。】

7-3 SPP マスターモード

このモードも、シリアルポートプロファイル(SPP)による接続ですが、スキャナはマスターモードになります。

USB-Bluetooth dongleやBluetooth内蔵PCなどが
必要です。またシリアルポートからデータを取り込む「Com-de-key」
などのアプリケーションも必要になります。 12桁のBluetoothア
ドレスおよびPINコードで設定します。



設定開始



SPPスキャナマスターモード



Bluetoothアドレス設定

12桁のBluetoothアドレスを設定します。

例 0011B1345600

“0” “0” “1” “1” “B” “1” “3” “4” “5” “6” “0” “0”

のASCIIバーコードを読み取りアドレスを設定します。



セット



スレーブ機器にペアリングを要求



設定終了



【このモードの接続についてはお問い合わせください。すべてのBluetooth製品との接続を保証しているものではありません。】

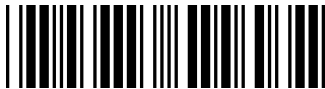
7-4 HIDモード

このモードでは、スキャナはヒューマンインターフェイスデバイス（HID）によりホストとリモート接続されます。

USB-B l u e t o o t h -ドングルやB l u e t o o t h内蔵P Cなどが必要です。読み取ったバーコードデータはキーボード入力と同じように入力されます。
。 デバイス名は「Z B B T」、P I Nコードは「12345678」です。



設定開始



HIDスキャナモード



スマートフォンモード



設定終了



【このモードの接続についてはお問い合わせください。すべてのBluetooth製品との接続を保証しているものではありません。】

【注意】

スマートフォンで接続する場合は下記の順番で読んでください。

[H I Dスキャナモード] → [スマートフォンモード]

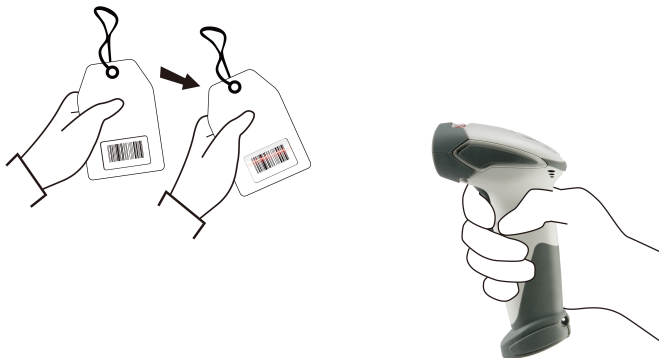
8. スキャナのページング

複数台以上の使用では、どのスキャナとクレードルがペアになっているのかわからなくなることがあります。そんな時はクレードルのファンクショントリガボタンを押してください。そのクレードルからペアにセットされたスキャナにページング（呼び出し）信号が送信されます。ページング信号を受信したスキャナは3回のビーブ音と青のLEDを3回点灯し応答します。ペアにセットされたスキャナが通信圏内にない場合などは応答することができません。

9. スキャンモード

ITL-3190BT Plusは下記の2つのスキャンモードで動作します。

■ ハンドヘルド モード



■ ハンズフリー モード



クレードルにセットしハンズフリーで自動的に読み取ります。

10. データ送信モード

ITL-3190BT Plusは次の4つのデータ送信モードから1つを選択します。

10-1 ノーマル モード（初期値）

このモードでは、通信圏内にスキャナがあるときに読み取ったバーコードデータは、ビープ音の発生によりホストに送信されたことを知らせます。スキャナが圏外の場合は4回のハイビープ音でエラーであることを知らせます。ノーマルモードではデータはストア（一時的メモリ）されません。

10-2 アウトオブレンジ モード

このモードでは、圏外で読み取ったバーコードデータをストアできます。スキャナが圏外の場合に青いLEDの遅いフラッシュで知らせます。バーコードを読み取ると圏外のため4回のハイビープ音でエラーであることを知らせますがデータはストアされます。

通信圏内にスキャナが戻ってくると接続状態になります。接続状態になるとストアされたデータは自動的に送信されます。ストアされたデータを送信しているときは中音のビープ音で知らせます。

10-3 スタンダードバッチモード

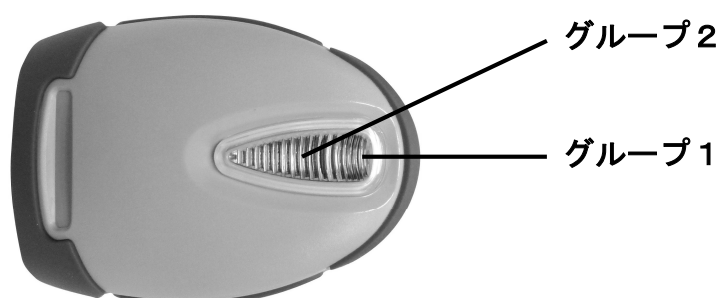
このモードでは、通信圏内でも圏外でもスキャナで読み取ったバーコードデータはすべてストアされます。ストアされたデータは「バッチデータ送信」バーコードを読み、トリガボタンを1秒以上押すことでホストに送信されます。

10-4 クレードルセットバッチモード

読み取り動作はスタンダードバッチモードと同じです。このモードでは、スキャナをクレードルにセットし、トリガボタンを1秒以上押すことでストアされた読み取りバーコードデータをホストに送信します。

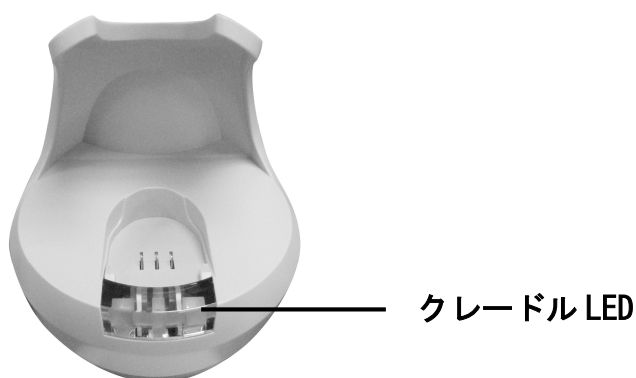
1 1. LEDインジケータ、ビープ音

【スキャナLEDインジケータ】



LED		ステータス
グループ 2	グループ 1	
	青点滅	ペアリング待機状態 (間隔 0.5s : 0.5s).
	青速い点滅	ペアリング中
	青遅い点滅	Bluetooth 正常接続状態 (間隔 0.03s : 3s).
青 1 回点灯		バーコード読み取り完了
青速い点滅		データ転送中
	緑点滅	充電中
	緑点灯	充電完了
赤点灯		プログラミングモード
赤遅い点滅 (ビープ音)		ローバッテリー
赤 2 回点滅 (ビープ音 2 回)		ローバッテリー (限界)

【クレードルLEDインジケータ】



LED	ステータス
青点滅 赤点灯	Bluetooth 未接続状態 AC アダプタ未接続.
青点灯 赤点灯	Bluetooth 正常接続状態 AC アダプタ未接続
青と赤が交互に点灯	USB インターフェイスが未接続
青点灯	Bluetooth 正常接続状態
青点滅	Bluetooth 未接続状態.

【ビープ音】

ビープ	ステータス
1 回のロングビープ	スキャナ電源オン
1 回のビープ	バーコード読み取り時。読み取りデータの送信またはストア（メモリへのセーブ）
1 回のハイ・ロー・ハイビープ	クレードルのペアリング アドレスバーコード読み取り
4 回のショートミディアムビープ	データ通信異常または無線エリア外.
1 回のミディアムロービープ	ローバッテリー
2 回のミディアムロービープ	ローバッテリー（限界）
1 回のショートミディアムビープ	スキャナ電源オフ
1 回のロングハイとミディアムビープ	プログラミングモード開始
1 回のロングミディアムとミディアムビープ	プログラミングモード終了

12. メンテナンス

■ 読み取り窓

読み取り窓は常にきれいな状態でご使用ください。エアーで埃を吹き飛ばしたり、柔らかな素材で軽く拭き取るようにします。強く拭いたり硬い素材で拭き取ると読み取り窓を傷つけ読み取り能力が低下します。

アセトン、ベンゼン、エーテルなどの薬品や溶剤を読み取り窓やケースに使用してはいけません。

■ バッテリー

以下はバッテリーパックの寿命を延ばすための推奨事項です：

バッテリーを初めて充電する際は、使用前に少なくとも12時間充電してください。

長期間使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。

バッテリーを3ヶ月以上使用しない場合は、使用前に充電する必要があります。

バッテリーを装着していない場合は、バッテリーセルの損傷を防ぐため、6ヶ月ごとに充電してください。

バッテリーの容量は、高温と低温の極端な温度で減少します。容量の低下、金属部品の錆び、電解液の漏れを防ぐため、機器から取り外して、乾燥した涼しい場所に半充電の状態で保管してください。

■ インタフェースケーブル

ホストに接続するインタフェースケーブルが破損した場合は交換が可能です。新しいケーブルは代理店または販売店よりご購入ください。

PCの買い替えなどで接続するインタフェースを変更する場合も、新しいケーブルは代理店または販売店よりご購入ください。インタフェースを変更した場合は、本マニュアルにより新しいインタフェースに設定変更を必ず実施してください。

13. 初期設定値

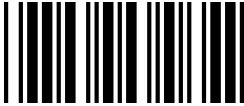
無線パラメータ

Bluetoothホスト	クレードルホスト
ペアリングモード	アンロック
データ送信モード	ノーマル
無線プロトコルタイムアウト	5 秒
パワーオフタイムアウト	20 分
暗号化	暗号化する

14. バーコード設定メニュー

通常は出荷時の設定のままで動作検証し問題がなければそのままご使用ください。
必要な項目のみ設定変更することを推奨いたします。

設定項目の  項目がデフォルト設定です。



設定開始

システム関連の設定



スキャナのみ工場出荷状態に戻す



クレードルのみ工場出荷状態に戻す

インターフェースの設定（クレードルホストと通信状態で設定すること）



U S B（H I D）キーボード初期状態に戻す



RS232C初期状態に戻す



PS/2 キーボードウェッジ初期状態に戻す



U S B（C O M）シリアル初期状態に戻す



ファームウェアバージョンの表示



中止（アップデートせずにプログラミングモードを終了する）



設定終了



設定開始

スキャンモード



トリガモード



オートスキャンモード



オルタネイトモード



プレゼンテーションモード



アイドルモード有効



アイドルモード無効

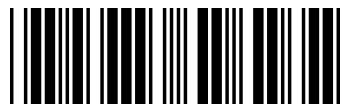


設定終了



設定開始

クレードルホストモード



クレードルホストモード有効



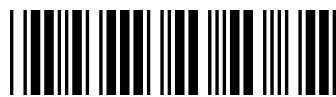
ペアリングモード解除



ペアリングモード固定



ペアリング取り消し



スキャナをクレードルにセット時のビープ音有効



スキャナをクレードルにセット時のビープ音無効



設定終了



設定開始

USBオンラインモード



USBオンラインスキャン無効

USBオンラインスキャン有効
(無線が切断された場合USB有効)無線通信を無視してUSBオンラインスキャン
(無線が接続されていてもUSB有効)

BT (Bluetooth) HIDモード



BT HIDモード有効



BT HIDスマートフォンモード有効

BT SPPマスタ/スレーブモード

SPPマスタモード有効
(接続先アドレス “BxxxxxxxxxxxT” Code39 フォーマット)

SPPスレーブモード有効



Bluetooth アドレス設定 (SPPマスタ時のみ)



PINコード設定 (SPPマスタ時のみ)



SET

設定の保存 (アドレスとPINコードの設定)
設定用フルアスキーバーコードで設定する任意の文字列を読み取り
「設定の保存」を読み取り設定します。

設定終了



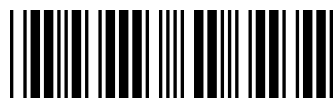
設定開始



デフォルトデバイスネーム有効



デバイスネーム設定



P I Nコード削除



SET

設定の保存（デバイスネームの設定）

設定用フルアスキーバーコードで設定する任意の文字列を読み取り「設定の保存」を読み取り設定します。



スレーブとペアを要求する（S P Pマスタ時のみ）



自動探索有効



自動探索無効



暗号化有効



暗号化無効



通信プロトコルなし



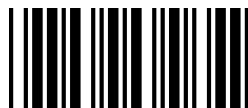
通信プロトコルACK/NAK



通信プロトコルパッキング



設定終了



設定開始

データ転送モード



標準データ転送

アウトオブレンジバッファ有効
(通信圏外でのバッファメモリ)

ビープ音を出しアウトオブレンジデータを再送信する



ビープ音を出さないでアウトオブレンジデータを再送信する



バッチモード



“バッチデータを削除する”をスキャンしてからバッチデータを消去する



バッチデータを削除する



バッチデータを送信後クリア



バッチデータを送信



USBケーブルが接続されたらバッチデータを送信する



クレードルに置いてトリガボタンを押すとバッチデータを送信する



ビープ音を出さないでバッチデータを送信する



ビープ音を出しバッチデータを送信する



設定終了



設定開始

無線通信プロトコルパラメーター



無線プロトコルタイムアウト＝3 秒



無線プロトコルタイムアウト＝5 秒



無線プロトコルタイムアウト＝8 秒



無線プロトコルタイムアウト＝1 0 秒



無線プロトコルタイムアウト＝1 3 秒



無線プロトコルタイムアウト＝1 6 秒



無線プロトコルタイムアウト＝2 0 秒



設定終了



設定開始

スリープ時間



5 分後スリープ



1 0 分後スリープ



2 0 分後スリープ



3 0 分後スリープ



1 時間後スリープ



2 時間後スリープ



4 時間後スリープ



6 時間後スリープ



8 時間後スリープ



設定終了



設定開始



スリープなし



強制的にスリープする



リンク時ビープ音有効



リンク時ビープ音無効



スリープから復帰時ビープ音有効



スリープから復帰時ビープ音無効



設定終了



設定開始

同一コード読み取り間隔



50m s e c



100m s e c



200m s e c



300m s e c



400m s e c



500m s e c



600m s e c



700m s e c



800m s e c



1000m s e c



無限

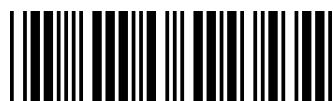


設定終了



設定開始

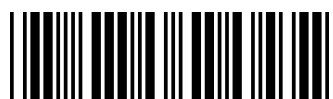
読み取り成功時ビープ音（音程）



中



高



低



無し

ビープ音（長さ）



長音



標準



短音



超短音



超長音



設定終了



設定開始

文字間ディレイ



0 m s



2 m s



5 m s



1 0 m s

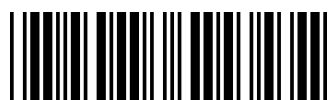


2 0 m s



5 0 m s

メッセージ間ディレイ



0 m s



1 0 0 m s



5 0 0 m s



1 0 0 0 m s



設定終了

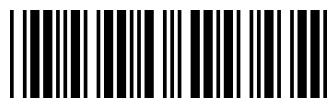


設定開始

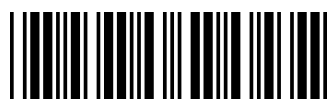
RS 2 3 2 C 設定 通信速度



1 1 5 2 0 0



1 9 2 0 0



9 6 0 0



4 8 0 0



2 4 0 0



1 2 0 0

RS 2 3 2 C 設定 パリティ



E v e n



O d d



M a r k



S p a c e



N o n e



設定終了



設定開始

RS 2 3 2 C 設定 ストップビット



1 ビット



2 ビット

RS 2 3 2 C 設定 データ長



7 ビット



8 ビット



設定終了



設定開始

RS 232C 設定 ハンドシェイク



なし



ACK/NAK



Xon/Xoff



RTS/CTS



<BEL> キャラクタでビープ音を出す有効



<BEL> キャラクタでビープ音を出す無効



ACK/NAK レスポンスタイム 300ms



ACK/NAK レスポンスタイム 2sec



ACK/NAK レスポンスタイム 500ms



ACK/NAK レスポンスタイム 3sec



ACK/NAK レスポンスタイム 1sec



ACK/NAK レスポンスタイム 5sec



ACK/NAK レスポンスタイム 無限



設定終了



設定開始

RS 232C 設定 終端文字



なし



CR/LF



CR



LF



TAB



STX/ETX



EOT



設定終了



設定開始

キーボードウェッジ設定



IBM PC/AT/PS/2 キーボードエミュレーション



インターナショナルキーボードモード (ALT method)



キーボード言語 米国 (USA)



キーボード言語 英国 (UK)



キーボード言語 ドイツ (GERMANY)



キーボード言語 フランス (FRENCH)



キーボード言語 スペイン (SPANISH)



キーボード言語 イタリア (ITALIAN)



キーボード言語 スイス (Switzerland)



キーボード言語 ベルギー (Belgium)



キーボード言語 日本 (Japanese)



キャプスロックオン



キャプスロックオフ



設定終了



設定開始

キーボードウェッジ設定



ファンクションキーエミュレーション有効



ファンクションキーエミュレーション無効



数字を通常データとして送信



数字をキーパッドのデータとして送信

キーボードウェッジ設定 終端文字



なし



Enter



TAB



設定終了



設定開始

USBインターフェイス設定



インターナショナルキーボードモード (ALT method)



キーボード言語 米国 (USA)



キーボード言語 ドイツ (GERMANY)



キーボード言語 フランス (FRENCH)



キーボード言語 スペイン (SPANISH)



キーボード言語 日本 (Japanese)



キーボード言語 イタリア (ITALIAN)

USBインターフェイス設定 終端文字



なし



Enter



TAB



設定終了



設定開始

C o d a b a r (N W - 7) パラメータ設定



C o d a b a r 有効



C o d a b a r 無効



C o d a b a r スタート/ストップキャラクタ送信しない

C o d a b a r スタート/ストップキャラクタ送信
A, B, C, DC o d a b a r スタート/ストップキャラクタ送信
DC1~DC4C o d a b a r スタート/ストップキャラクタ送信
a/t, b/n, c/*, d/e

C o d a b a r 最大桁数設定



C o d a b a r 最小桁数設定



SET

設定を保存する(最大/最小桁数の設定)
 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り
 「設定の保存」を読み取り設定します。



C o d a b a r チェックキャラクタなし



モジュロ16計算 チェックキャラクタ送信しない



モジュロ16計算 チェックキャラクタ送信する



設定終了



設定開始

C o d a b a r (NW-7)パラメータ設定



照合回数 0回



照合回数 1回



照合回数 2回



照合回数 3回



設定終了



設定開始

C o d e 3 9 パラメータ設定



C o d e 3 9 有効



C o d e 3 9 無効



C o d e 3 2 有効



C o d e 3 2 無効



照合回数 0 回



照合回数 1 回



照合回数 2 回



照合回数 3 回



スタンダードC o d e 3 9



フルA S C I I C o d e 3 9



スタート/ストップキャラクタ送信する



スタート/ストップキャラクタ送信しない



設定終了



設定開始

C o d e 3 9パラメータ設定



チェックデジットチェック チェックキャラクタ送信する



チェックデジットチェック チェックキャラクタ送信しない



チェックデジットチェックなし



C o d e 3 9 最大桁数設定



C o d e 3 9 最小桁数設定



SET

設定を保存する(最大/最小桁数の設定)
設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り
「設定の保存」を読み取り設定します。



C o d e 3 9 (Italian pharmacy) “A” キャラクタを送信する



C o d e 3 9 (Italian pharmacy) “A” キャラクタを送信しない



設定終了



設定開始

C o d e 9 3 パラメータ設定



C o d e 9 3 有効



C o d e 9 3 無効



照合回数 0 回



照合回数 1 回



照合回数 2 回



照合回数 3 回



C o d e 9 3 最大桁数設定



C o d e 9 3 最小桁数設定



SET

設定を保存する(最大/最小桁数の設定)
設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り
「設定の保存」を読み取り設定します。



チェックデジットチェック チェックキャラクタ送信しない



チェックデジットチェックせず チェックキャラクタ送信しない



チェックデジットチェック チェックキャラクタ送信する



設定終了



設定開始

C o d e 1 2 8 パラメータ設定



C o d e 1 2 8 有効



C o d e 1 2 8 無効



E A N 1 2 8 有効



E A N 1 2 8 無効



照合回数 0 回



照合回数 1 回



照合回数 2 回



照合回数 3 回



チェックキャラクタチェックしない



チェックキャラクタチェック チェックキャラクタ送信しない



チェックキャラクタチェック チェックキャラクタ送信する



C o d e 1 2 8 最大桁数設定



C o d e 1 2 8 最小桁数設定



SET

設定を保存する
(最大/最小桁数の設定)
設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り、「設定の保存」を読み取り設定します。



設定終了



設定開始

中国郵便コードパラメータ設定



中国郵便コード有効



中国郵便コード無効



照合回数 0回



照合回数 1回



照合回数 2回



照合回数 3回



中国郵便コード最大桁数設定



中国郵便コード最小桁数設定



SET

設定を保存する(最大/最小桁数の設定)
設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り
「設定の保存」を読み取り設定します。



設定終了



設定開始

MSI/Plessyパラメータ設定



MSI 有効



MSI 無効



照合回数 0回



照合回数 1回



照合回数 2回



照合回数 3回



MSI 最大桁数設定



Plessy 最大桁数設定



SET

設定を保存する(最大/最小桁数の設定)

設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り「設定の保存」を読み取り設定します。



MSI/Plessy ダブルチェックデジットをチェックするがキャラクターは送らない



MSI/Plessy ダブルチェックデジットをチェックしないキャラクターは送らない



MSI/Plessy ダブルチェックデジットをチェックする最初のキャラクターのみ送る



MSI/Plessy ダブルチェックデジットをチェックする両方のキャラクターを送る



設定終了



設定開始

MSI/Plessyパラメータ設定

MSI/Plessy シングルチェックデジットをチェックするがキャラクターは送らない



MSI/Plessy シングルチェックデジットをチェックするキャラクターを送る



設定終了



設定開始

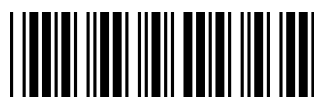
C o d e 1 1 パラメータ設定



C o d e 1 1 有効



C o d e 1 1 無効



C o d e 1 1 最大桁数設定



C o d e 1 1 最小桁数設定



SET

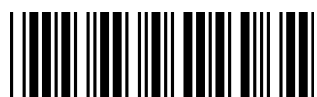
設定を保存する(最大/最小桁数の設定)
 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り
 「設定の保存」を読み取り設定します。



1 チェックデジットチェック



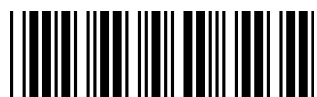
2 チェックデジットチェック



コード長が 10 文字より長い場合、2 チェックデジットチェック



チェックデジットチェックしない



チェックキャラクタ送信する



チェックキャラクタ送信しない



設定終了



設定開始

I T F (Interleaved 2 of 5)パラメータ設定



I T F 有効



I T F 無効



I A T Aコード有効



I A T Aコード無効



照合回数 0回



照合回数 1回



照合回数 2回



照合回数 3回



チェックキャラクタチェックしない



チェックキャラクタチェックするキャラクタ送信する



チェックキャラクタチェックするキャラクタ送信しない



設定終了



設定開始

I T F (Interleaved 2 of 5) パラメータ設定



I T F 最大桁数設定



I T F 最小桁数設定



I T F 固定桁数設定 1



I T F 固定桁数設定 2



SET

設定を保存する(桁数の設定)

設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り
「設定の保存」を読み取り設定します。



I T F 桁可変長



設定終了



設定開始

Standard 2 of 5 パラメータ設定



Standard 2of5 有効



Standard 2of5 無効



Standard 2of5 最大桁数設定



Standard 2of5 最小桁数設定



SET

設定を保存する(最大/最小桁数の設定)
設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り
「設定の保存」を読み取り設定します。



チェックキャラクタチェックしない



チェックデジットチェックするキャラクタ送信する



チェックデジットチェックするキャラクタ送信しない



設定終了



設定開始

Industrial 2 of 5 パラメータ設定



Industrial 2of5 有効



Industrial 2of5 無効



Industrial 2of5 最大桁数設定



Industrial 2of5 最小桁数設定



SET

設定を保存する(最大/最小桁数の設定)
設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り
「設定の保存」を読み取り設定します。



チェックキャラクタチェックしない



チェックデジットチェックするキャラクタ送信する



チェックデジットチェックするキャラクタ送信しない



設定終了



設定開始

UPC/EAN/JAN パラメータ設定



EAN を ISSN/ISBN に変換 有効



EAN を ISSN/ISBN に変換 無効



UPC/EAN/JAN 有効



UPC/EAN/JAN 無効



UPC/EAN/JAN オール有効



EAN-8 と EAN-13 有効



UPC-A と EAN-13 有効



UPC-A と UPC-E 有効



UPC-A 有効



UPC-E 有効



EAN-13 有効



EAN-8 有効



UPC/EAN アドオン無効



設定終了



設定開始

UPC/EAN/JAN パラメータ設定



アドオン5のみ



アドオン2のみ



アドオン2または5



UPC-E を UPC-A フォーマットに変換する



UPC-E を UPC-A フォーマットに変換しない



UPC-A を EAN-13 フォーマットに変換する



UPC-A を EAN-13 フォーマットに変換しない



EAN-8 を EAN-13 フォーマットに変換する



EAN-8 を EAN-13 フォーマットに変換しない



UPC-A チェックデジットを送る



UPC-A チェックデジットを送らない



UPC-E リーディングキャラクタを送る



UPC-E リーディングキャラクタを送らない



設定終了



設定開始

UPC/EAN/JAN パラメータ設定



UPC-E チェックデジットを送る



UPC-E チェックデジットを送らない



EAN-8 チェックデジットを送る



EAN-8 チェックデジットを送らない



EAN-13 チェックデジットを送る



EAN-13 チェックデジットを送らない



UPC-A リーディングキャラクタを送る



UPC-A リーディングキャラクタを送らない

アドオンをセパレータで分ける
(スペースで分ける)

アドオンをセパレータで分けない



EAN-13 カントリーコード先頭の“0”を送る



EAN-13 カントリーコード先頭の“0”を送らない



EAN-13 最初の“0” ID コードを UPC-A と同じにする



設定終了



設定開始

UPC/EAN/JAN パラメータ設定



EAN-13 最初の“0” ID コードを EAN-13 と同じにする



UPC-A 照合回数 0 回



UPC-A 照合回数 1 回



UPC-A 照合回数 2 回



UPC-A 照合回数 3 回



UPC-E 照合回数 0 回



UPC-E 照合回数 1 回



UPC-E 照合回数 2 回



UPC-E 照合回数 3 回



EAN-13 照合回数 0 回



EAN-13 照合回数 1 回



EAN-13 照合回数 2 回



EAN-13 照合回数 3 回



設定終了



設定開始

UPC/EAN/JAN パラメータ設定



EAN-8 照合回数 0回



EAN-8 照合回数 1回



EAN-8 照合回数 2回



EAN-8 照合回数 3回



EAN/UPC+アドオン(必須でない)



EAN/UPC+アドオン(必須)

EAN/UPC+アドオン 978/977 ブックランド 読み取り有効
(他のアドオン読み取り不可)EAN/UPC+アドオン 978/977 ブックランド 読み取り有効
(他のアドオン読み取り可)EAN/UPC+アドオン 491 新雑誌コード 読み取り有効
(他のアドオン読み取り不可)EAN/UPC+アドオン 491 新雑誌コード 読み取り有効
(他のアドオン読み取り可)

設定終了



設定開始

Telepen パラメータ設定



Telepen 有効



Telepen 無効



Telepen ニューメリックモード有効



AIM Telepen 有効



設定終了



設定開始

Matrix 2 of 5 パラメータ設定



Matrix 2of5 有効



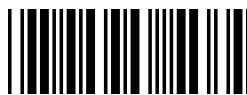
Matrix 2of5 無効



Matrix 2of5 最大桁数設定



Matrix 2of5 最小桁数設定



SET

設定を保存する(最大/最小桁数の設定)
設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り
「設定の保存」を読み取り設定します。



チェックキャラクタチェックしない



チェックデジットチェックするチェックキャラクタ送信する



チェックデジットチェックするチェックキャラクタ送信しない



設定終了



設定開始

GS1 DataBar Omnidirectional (RSS-14) パラメータ設定

GS1 DataBar Omnidirectional (RSS-14) グループ

- GS1 DataBar Omnidirectional
- GS1 DataBar Truncated
- GS1 DataBar Stacked
- GS1 DataBar Stacked Omnidirectional



GS1 DataBar Omnidirectional 有効



GS1 DataBar Omnidirectional 無効



GS1 DataBar Omnidirectional チェックデジット送信する



GS1 DataBar Omnidirectional チェックデジット送信しない



GS1 DataBar Omnidirectional アプリケーション ID(01) 送信する



GS1 DataBar Omnidirectional アプリケーション ID(01) 送信しない



GS1 DataBar Omnidirectional EAN-128 エミュレーション有効



GS1 DataBar Omnidirectional EAN-128 エミュレーション無効



設定終了



設定開始

GS1 DataBar Limited (RSS Limited) パラメータ設定

GS1 DataBar Limited (RSS Limited) グループ
・ GS1 DataBar Limited



GS1 DataBar Limited 有効



GS1 DataBar Limited 無効



GS1 DataBar Limited チェックデジット送信する



GS1 DataBar Limited チェックデジット送信しない



GS1 DataBar Limited アプリケーション ID (01) 送信する



GS1 DataBar Limited アプリケーション ID (01) 送信しない



設定終了



設定開始

GS1 DataBar Expanded (RSS Expanded) パラメータ設定

GS1 DataBar Expanded (RSS Expanded) グループ

- ・ GS1 DataBar Expanded
- ・ GS1 DataBar Expanded Stacked



GS1 DataBar Expanded 有効



GS1 DataBar Expanded 無効



GS1 DataBar Expanded EAN-128 エミュレーション有効



GS1 DataBar Expanded EAN-128 エミュレーション無効



GS1 DataBar Expanded チェックデジット送信する



GS1 DataBar Expanded チェックデジット送信しない



GS1 DataBar Expanded アプリケーション ID(01)送信する



GS1 DataBar Expanded アプリケーション ID(01)送信しない



設定終了



設定開始

コード I D 設定



コード I D 無効



標準コード I D 有効



A I Mコード I D 有効



Code39 コード I D 文字設定



ITF 2of5 コード I D 文字設定



中国郵便コード コード I D 文字設定



UPC-E コード I D 文字設定



UPC-A コード I D 文字設定



EAN-13 コード I D 文字設定



EAN-8 コード I D 文字設定



Codabar (NW-7) コード I D 文字設定



SET

設定を保存する(コード I D の設定)

設定用フルアスキーバーコードで設定する任意の 1 ～ 2 文字を読み取り「設定の保存」を読み取り設定します。



設定終了



設定開始

コード I D 設定



Code128 コード I D 文字設定



Code93 コード I D 文字設定



MSI コード I D 文字設定



GS1 DataBar Omnidirectional コード I D 文字設定



GS1 DataBar Limited コード I D 文字設定



GS1 DataBar Expanded コード I D 文字設定



Industrial 2of5 コード I D 文字設定



Code11 コード I D 文字設定



Standard 2of5 コード I D 文字設定



Matrix 2of5 コード I D 文字設定



SET

設定を保存する(コード I D の設定)

設定用フルアスキーバーコードで設定する任意の 1 ～ 2 文字を読み取り「設定の保存」を読み取り設定します。



設定終了



設定開始

ヘッダー／トレーラー設定



読み取りデータ桁数 有効 (2桁表示)



読み取りデータ桁数 無効



ヘッダー(プリアンブル)設定



トレーラー(ポストアンブル)設定



SET

設定を保存する(ヘッダー／トレーラーの設定)

設定用フルアスキーバーコードで設定する任意の1～10文字を読み取り「設定の保存」を読み取り設定します。



前方データ削除桁数設定



後方データ削除桁数設定



SET

設定を保存する(削除桁数の設定)

設定用数字バーコードで設定する任意の数字2桁を読み取り「設定の保存」を読み取り設定します。



設定終了

設定用 フルアスキーバーコード



NUL



SOH (Ins)



STX (Del)



ETX (Home)



EOT (End)



ENQ (Up)



ACK (Down)



BEL (Left)



BS ()



HT (TAB)



LF (Enter)



VT (right)



FF (PgUp)



CR ()



SO (PgDn)



SI (Shift)



DEL ()



DC1 (F1)



DC2 (F2)



DC3 (F3)



DC4 (F4)



NAK (F5)



SYN (F6)



ETB (F7)



CAN (F8)



EN (F9)



SUB (F10)



ESC (F11)



FS (F12)



GS (ESC)

設定用 フルアスキーバーコード



RS CTL(L)



US ALT(L)



SP



!



"



#



\$



%



&



'



(



)



*



+



,



-



.



/



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



:



;

設定用 フルアスキーバーコード



<



=



>



?



@



A



B



C



D



E



F



G



H



I



J



K



L



M



N



O



P



Q



R



S



T



U



V



W



X:



Y;

設定用 フルアスキーバーコード

	
Z	i
	
[	j
	
¥	k
	
]	l
	
^	m
	
_	n
	
\,	o
	
a	p
	
b	q
	
c	r
	
d	s
	
e	t
	
f	u
	
g	v
	
h	w

設定用 フルアスキーバーコード



x



y



z



{



|



}



~



DEL

設定用 数字バーコード



1



2



3



4



5



6



7



8



9



0



SET (設定を保存)



ENTER (Bluetooth HID モード PIN コード確定時に使用)

アスキーコード表

アスキー (ASCII) コード表								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

キーボードコード表

キーボードコード表								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0		テンキー 5	SP	0	@	P	`	p
1	Insert	F1	!	1	A	Q	a	q
2	Delete	F2	”	2	B	R	b	r
3	Home	F3	#	3	C	S	c	s
4	End	F4	\$	4	D	T	d	t
5	↑	F5	%	5	E	U	e	u
6	↓	F6	&	6	F	V	f	v
7	←	F7	'	7	G	W	g	w
8	Back Space	F8	(	8	H	X	h	x
9	HT/Tab	F9	)	9	I	Y	i	y
A	テンキー Enter	F10	*	:	J	Z	j	z
B	→	F11	+	;	K	[	k	{
C	Page Up	F12	,	<	L	¥	l	
D	Enter	ESC	-	=	M	]	m	}
E	Page Down	CTRL(L)	.	>	N	^	n	~
F	Shift	ALT(R)	/	?	O	_	o	DEL

ファンクションエミュレーションを有効に設定した場合、網掛け部分のファンクションキーが送信されます。インターフェイス設定がUSB キーボード、キーボードインターフェイス設定時に使用可能です。

コードID表

バーコードシンボル	標準コードID
Code 39	M
ITF 2 of 5	I
Chinese post code	H
UPC-E	E
UPC-A	A
EAN-13	F
EAN-8	FF
Codabar (NW-7)	N
Code 128	K
Code 93	L
MSI	P
GS1 DataBar Omnidirectional	RS
GS1 DataBar Limited	RL
GS1 DataBar Expanded	RX
Industrial 2 of 5	D
Code11	O
Standard 2 of 5	S
Matrix 2 of 5	



〒111-0041 東京都東京都江東区新砂 1-6-35 Nビル東陽町7F

tel 03-5683-9420 fax 03-5683-9421

www.j-itecs.co.jp